ニュースポーツ用具 貸出一覧

はじめよう！ニュースポーツ☆

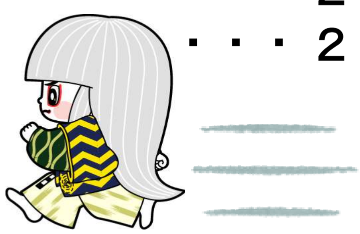


井原市教育委員会

平成　31年 3月　作成
令和　　4年 4月　改訂
令和　　5年 4月　改訂

◆　もくじ　◆

インディアカ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
キンボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
グラウンド・ゴルフ・・・・・・・・・・・・・・・・・３
スポーツチャンバラ・・・・・・・・・・・・・・・・・４
ターゲット・バードゴルフ・・・・・・・・・・・・・・５
チャレンジ・ザ・ゲーム
　　キャッチング・ザ・スティック・・・・・・・・・・６
　　バンブー・ダンス・・・・・・・・・・・・・・・・７
　　ロープジャンピング・・・・・・・・・・・・・・・８
　　リングキャッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・９
綱引き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
ティーボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
ディスクゴルフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
ディスコン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
ふらばーるボールバレー・・・・・・・・・・・・・・・１４
フリーテニス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
ペタンク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
ユニホック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
ラダーゲッター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
囲碁ボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
ボッチャ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
モルック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
カローリング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２



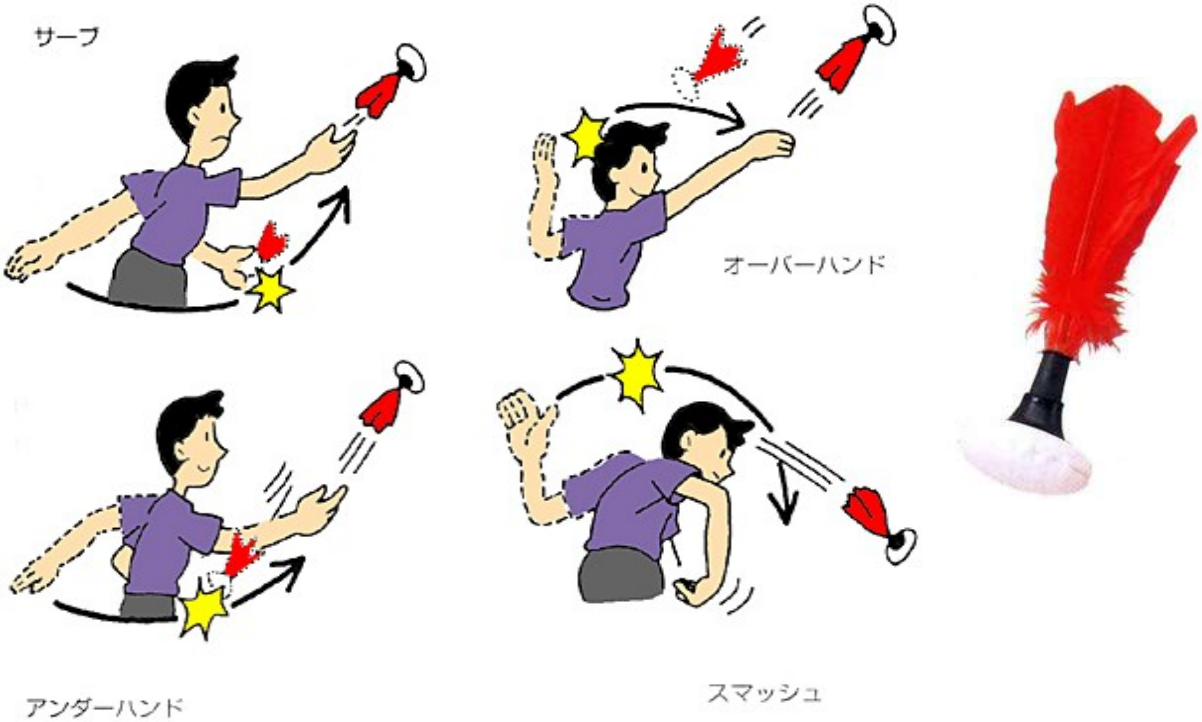
ニュースポーツ用具　一覧表

用　具　名	内　　容	数　　量	備　　考
インディアカ	インディアカ	4セット	両用
	支柱、ネット（バドミントン用でも可）		
キンボール	キンボール（外側、内側）	2セット	屋内用
	ビブス（黒、灰、ピンク各4着）		
グラウンド・ゴルフ	スティック・ボールセット（6本1セット）	10セット	屋外用
	ホールポスト（8ホール分）	5セット	
	予備スティック	13本	
	スティック（車いす乗車使用）	3　本	
スポーツチャンバラ	太刀	9セット	屋内用
	防具		
ターゲット・バードゴルフ	ゴルフクラブ	14本	屋外用
	ネットホール、ショットマット	8セット	
	ボール	約100球	
チャレンジ・ザ・ゲーム	キャッチング・ザ・スティック（16本1組）	2セット	両用
	バンブー・ダンス（2本1組）	10セット	
	ロープジャンピング	9　つ	
	リングキャッチ（黄10、橙8）	2セット	
綱引き	公認ロープ	3セット	屋内用2本、屋外用1本
	ヘルメット（2つ）		両用
	予備ヘルメット	2　つ	
ティーボール	ティー	4セット	屋外用
	バット（2本1組）		
	予備バット	1　本	
ディスクゴルフ	フリスビー（4人1セット）	10セット	屋外用
	移動用ゴール	4　台	
ディスコン	ディスコン（ポイントを含む）	6セット	屋内用
ふらばーるボールバレー	ふらばーる（2球黄、ピンク各1）	3セット	屋内用
	支柱、ネット		
フリーテニス	フリーテニスセット（ラケット4、ネット1、ボール2）	4セット	屋外用
ペタンク	ボール（的を含む）	5セット	屋外用
ユニホック	スティック・ボール（12・6）※4チーム分	3セット	屋内用
	ゴール（1対）		
ラダーゲッター	ラダーゲッターセット	2セット	両用
囲碁ボール	囲碁ボールセット	2セット	屋内用
ボッチャ	ボッチャセット	2セット	屋内用
モルック(井原BG貸出)	モルックセット	2セット	屋内用・屋外用
カローリング(美星BG貸出)	カローリングセット	4セット	屋内用

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	インディアカ	人　数	1チーム4or5人×2チーム	場　所	屋内
道　具	インディアカボール、支柱、ネット（バドミントン用でも可）				

ルール



〇羽根のついたボール（正式名称は「インディアカボール」。日常的には「羽根」「インディアカ」と呼ぶ）を手（肘より先）を用いて4対4or5対5で打ち合う。
〇コートは、バドミントンのダブルスと同じ広さで行う。
〇ルールは、バレーボールによく似ており、サーブ（下手打ち）から始め、レシーブ・トス・アタックの三段構成で敵陣に3回以内でボールを返す。
〇必ず片手で羽根を打たなければならず、肘より先以外の体の部位に羽根が触れると反則を取られる。
〇1～3打のいずれかにおいて羽根がネットに触れたら、4打までが有効打として認められる（アタックをネットに引っ掛けた場合、4打目に相手コートに羽根を返せば反則とならない）。
〇ローテーション制で、21点もしくは18点のラリーポイントで競う。大会によってはサイドアウト制や、時間制で行われることもある。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	キンボール	人　数	1チーム4名（最大8名）×3チーム	場　所	屋内（体育館）
道　具	キンボール、空気入れ、ゼッケン（3チーム分）				





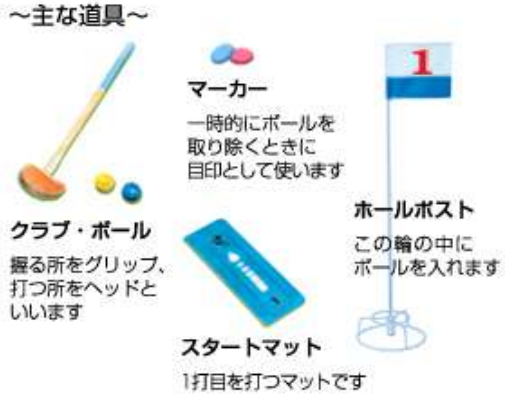
ルール

〇ピンク、ブラック、グレーの3チームで競う（全員がチームカラーを示すゼッケンを着用）。
〇3チームでヒット（サーブ）権をジャンケン等で決定する。
〇ヒット権を得たチームは、コートの中央で、ヒットチームのヒッター以外がボールを支える。
〇ヒット権を得たチーム以外の2チームは、コート内に陣地の区分はないので、各チーム4名でコート内すべてを守れるように守備につく。
〇試合の開始はレフリーの合図（笛）により開始とする。
〇ヒットはヒットチームの1名が必ず「オムニキン」と言い、続いてレシーブチームの色（自チーム以外のどちらかの色）をヒット前に大きな声でコールしてからヒット（腰より上のみを使用、手や腕等）する。ヒットの瞬間は4名全員がボールに触れていなければならない。
※必ずしもヒッターが言う必要はない。但しそのつど必ず1名のみ。
〇ヒットされたボールは、指定された色のチーム（レシーブチーム）が床に落ちる前に レシーブ（全身使用可）する。それを繰り返す。
〇レシーブまたはヒットに失敗すると、失敗したチーム以外の2チームに1点ずつが加算される。
〇その後のゲーム再開は、失敗や反則をしたチームが失敗や反則を犯したところから （2.5mの範囲内で）ヒットして再開。
〇終了のタイムキーパーからの合図でピリオド（またはゲーム）終了。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	グラウンド・ゴルフ	人　数	特別な制限なし	場　所	屋外
道　具	クラブ、ボール、ホールポスト、スタートマット				

ルール



☆井原市グラウンド・ゴルフ場
開場時間　AM9：00～PM5：00

休 業 日　毎週月曜日（祝日の場合にはその翌日）
※年末年始（12月28日～1月4日）

料金（市外の方は倍）
・高校生以下 100円/1日
・一般　200円/1日
・会員（高校生以下） 2，500円/1年
・会員（一般） 5，000円/1年
※用具貸出料　無料（数に限りがある）

お問い合わせ
井原市グラウンド・ゴルフ場
岡山県井原市上出部町四季が丘20-2
Tel.Fax 0866-65-2577

〇ゲームは、所定のボールをきめられた打順にしたがってスタートマットから打ち始め、ホールポスト内に静止した状態「トマリ」までの打数を数える.。
〇プレーヤーは、打ったボールが他のプレーヤーのボールに当たったときは、そのままボールの止まった位置からプレーを続ける。当てられたプレーヤーはもとの位置にボールをもどさなければならない。
〇プレーヤーは、打ったボールが1打目でトマリになったとき（ホールインワン）は、合計打数から1回につき3打差し引いて計算する。
〇標準コースは、50m、30m、25m、15m 各2ホールの合計8ホールで構成する。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	スポーツチャンバラ	人　数	特別な制限なし	場　所	屋内
道　具	太刀、防具				







ルール

〇基本的には剣道と同じ1対1形式の対戦形式。
〇面打ち、胴、小手、突き、 足、背中まで、あらゆる範囲が有効打突。
〇打ち以外の攻撃
「突き」に関しては少し扱いが特殊で、有効部位が「面」「胴」のみに限定されています。手足への突きは戦闘力を奪う程ダメージはないという観点による。
〇当たっても一本ではない場合
・スポチャンは片手で刀を扱うため、利き手と反対の手は、「かばい手」として一度だけ防御に使用することが許されている。これはとっさの防御手段として例外的なもので、かばい手から即座にカウンターを繰り出しても、その攻撃は無効である。
・両者の攻撃が同時に当たった場合は、「相打ち」となる。
〇多対多によってコート内で入り乱れて戦う「合戦」というゲーム形式や、多人数による乱戦形式で生き残りを争う「サバイバル」といったゲーム形式もある。

ニュースポーツ用具　使用方法

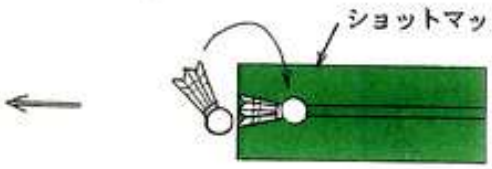
種目名	ターゲット・バードゴルフ	人　数	特別な制限なし	場　所	屋外
道　具	クラブ、ボール、ショットマット、ネットホール				

ルール



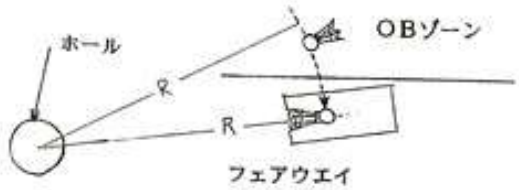
ボールのセット





①ボールの直後に接するようにショットマットを置きます。
②ボールを拾い上げます。
③ショットマットの前方にマットの中心線に合わせてボールを置きます。

コンパス方式



①ホールに近寄らず、フェアウエイ内にショットマットを置きます。
②ボールを拾い上げます。
③ショットマットの先端にボールを置きます。

〇ホールの距離はパー3のコースが30～50m、パー4が45m～70m、パー5が60m～90m。
〇通常４人一組でプレーし、スターティングホールのティーショットはじゃんけんやトスなどで決める。
〇2打目以降はホールから最も遠いボールのプレイヤーがショットし、スイングマットをボールの直後に置き、ボールをマットの最前方においてショットする。
〇全員がホールに球が入りホールインすればそのホールは終了。
〇もしライン上にボールが静止した場合は羽根部分を除く球状の部分が半分以上ホールの内側にあればホールインとみなす。
〇上側のホール（アドバンテージホール）に入ればショット数、下側のホール（セカンドホール）に入ればショット数+1を打数とする。
〇2ホール目以降は前のホールで一番打数が少ないプレイヤーからティーショットを行う。同数の場合は前ホールの打順に従う。
〇全ホールの打数が一番少ないプレイヤーが勝ちとする。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	チャレンジ・ザ・ゲーム キャッチング・ザ・スティック	人　数	1チーム10人	場　所	屋内・屋外
道　具	スティック（16本）				





ルール

〇メンバーの内8人がひとり2本のスティックを両手で持ち、横一列に並ぶ。スティックを持っていない2人は列の左端に並ぶ。
〇チームのリーダーが「せ～の」の掛け声を掛け、「トン、トン」とスティックを2回床に打ちつける（開始の掛け声は最初の1回だけ）。
〇打ちつけた後、2本のスティックを8人が同時に離し、素早く右へ移動し、右隣の人のスティック2本をキャッチする。この時点からカウントを開始する。
〇右端の人は、速やかに左端へ移動する。
〇カウントは、全員が右へ移動するたびに行い、連続して成功した回数が記録となる。
〇ひとりでもスティックのどちらかを床に倒してしまうか、他のメンバーがスティックに触れ、支えた場合はその時点で終了となる。
〇チャレンジごとのメンバーの並び替えは認められる。
〇チャレンジ間の作戦タイム、休憩タイムは30秒以内とする。

【アウト】
〇「トン、トン」の時、床からスティックを浮かしていない人がいた時。
〇次の人がキャッチしやすいようスティックを押さえたまま手渡した時。
〇「トン、トン、パッ」のテンポが遅い時（最低1分間に96拍以上＜10秒間に4回以上＞の速さ）。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	チャレンジ・ザ・ゲーム バンブーダンス	人　数	1チーム10人	場　所	屋内・屋外
道　具	竹2本（4m程度）、枕竹2本（1m程度の竹を半分に切ったもの）				

ルール



○開始の合図で「リズムキーパー」は、「1、2、3」「1、2、3」と3拍子のリズムで竹棒を打ち続け、この時「1」では竹棒同士を、「2、3」では竹棒を枕竹に打ちつける。
○「跳び手」は次の要領でステップする(竹棒に対し左側から入る場合)。

1.左足を竹棒の左外側にステップし、右足を浮かす。
2.右足を竹棒の間にステップし、左足を浮かす。
3.左足を竹棒の間にステップし、右足を浮かす。
4.右足を竹棒の右外側にステップし、左足を浮かす。
5.左足を竹棒の間にステップし、右足を浮かす。
6.右足を竹棒の間にステップし、左足を浮かす。　　以上、1～6を繰り返す

○カウントは、6人の跳び手全員が入ったところから数え始める。
○6人が失敗せずに右or左へ移動できたらカウント1となる（往復で2）。
○1人でも失敗した時点でその回は終了。
○チャレンジごとに「リズムキーパー」と「跳び手」の交替は認められる。
○チャレンジ間の作戦タイム、休憩タイムは30秒まで。
○競技中は必ず前の人の肩に手を置く。
●アウト
・テンポが遅い時（目安：最低90拍以上/1分間、10秒間に5回以上）。
・競技中に1人でも前の人の肩から手を離した時。
・6人が一緒に定められたステップを踏めなかった時。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	チャレンジ・ザ・ゲーム ロープジャンピング	人　数	下記のとおり	場　所	屋内・屋外
道　具	専用ロープ				

ルール





【ロープ・ジャンピング・10】
〇1チーム12人。
〇ロープの回し役2人がロープを回し始めたらら、跳び役の10人が1人ずつ大なわに入っていき跳び続ける。10人全員そろって跳んだ時点からカウントし、連続して跳んだ回数が記録となる。
【ロープ・ジャンプ・X】
〇1チーム3人以上。
〇10mのロープを使った大なわとび。3人以上であれば何人でも楽しめる。“跳んだ回数×跳んだ人数”がチームのポイントになる。
〇異人数でも対抗戦ができる。
【ロープ・ジャンピング・EX(エクストラ) 】
〇1チーム13人以上。
〇ロープ・ジャンプ・Xのルールに、跳んでいる最中に入れ替わった回数をポイントとして加算する。
・「跳び役の人数」×「跳んだ回数」を基本ポイントとする。
・「跳んだ回数」は、「跳び役」全員が跳び終わるごとに数える。
・ロープの端からロープ内に1名入り、1回以上ロープを跳び、もう片方のロープの端から別の1名が出た場合に1回と数え、試技終了時に合計数を10倍する（1回＝10ポイント）。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	チャレンジ・ザ・ゲーム リングキャッチ	人　数	下記のとおり	場　所	屋内・屋外
道　具	専用リング				

ルール



リング・キャッチ・クロス・10



ペア・リング・キャッチ



リング・キャッチ



【リング・キャッチ・クロス・10】
〇1チーム10人が5人ずつ2組。
〇リングを1個ずつ持ち向かい合い、うち端の一人は別色のリングを持ち、全員が一斉にクロスするようにスローイングとキャッチを続け、別色のリングが最初の人に戻ってくるまでのタイムを競う。
【ペア・リング・キャッチ】
〇向かい合った2人が、3つ以上のリングをまとめて投げあい、2分間でトータルでキャッチできたリングの数を競う。
〇2人の距離は、お互いの両手を大きく広げた距離の長さ。
【リング・キャッチ】
〇1チーム10人（2人×5組）。
〇5組のペアが、リングのスローイングとキャッチを同時に行い、落とさずに何回ラリーできたかを競う。
〇5組のペアが8m離れ、リングを1つずつ持ち、向かい合い、かけ声をあわせ、全員でリングをスローし、互いのパートナーが投げたリングをキャッチする。
〇スローイングとキャッチングは必ず片手で行い、全員がミスなくキャッチできた時のカウントを数える。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	綱引き	人　数	特別な制限なし	場　所	屋内・屋外
道　具	専用綱、ヘルメット				





ルール

【競技規則】

〇1チームの構成は、選手8人+交代要員2人+監督1人+トレーナー1人の計12人編成で競技にあたる（監督、トレーナーは選手兼任も可）。

〇「ピックアップ ザ ロープ」の合図で選手は綱を持ち、「テイク ザ ストレイン」で綱引の体勢に入り、[ステディ」「プル」で試合が始まる。

〇足以外の身体の部分が床と接触したり、床に座りこんだり、寝転んだりしたら反則。ストップしたままの状態で綱を引き続けることも反則であるが、この場合、反則をした人は綱から一時手を離し、体勢を立て直してから競技に復帰することができる。

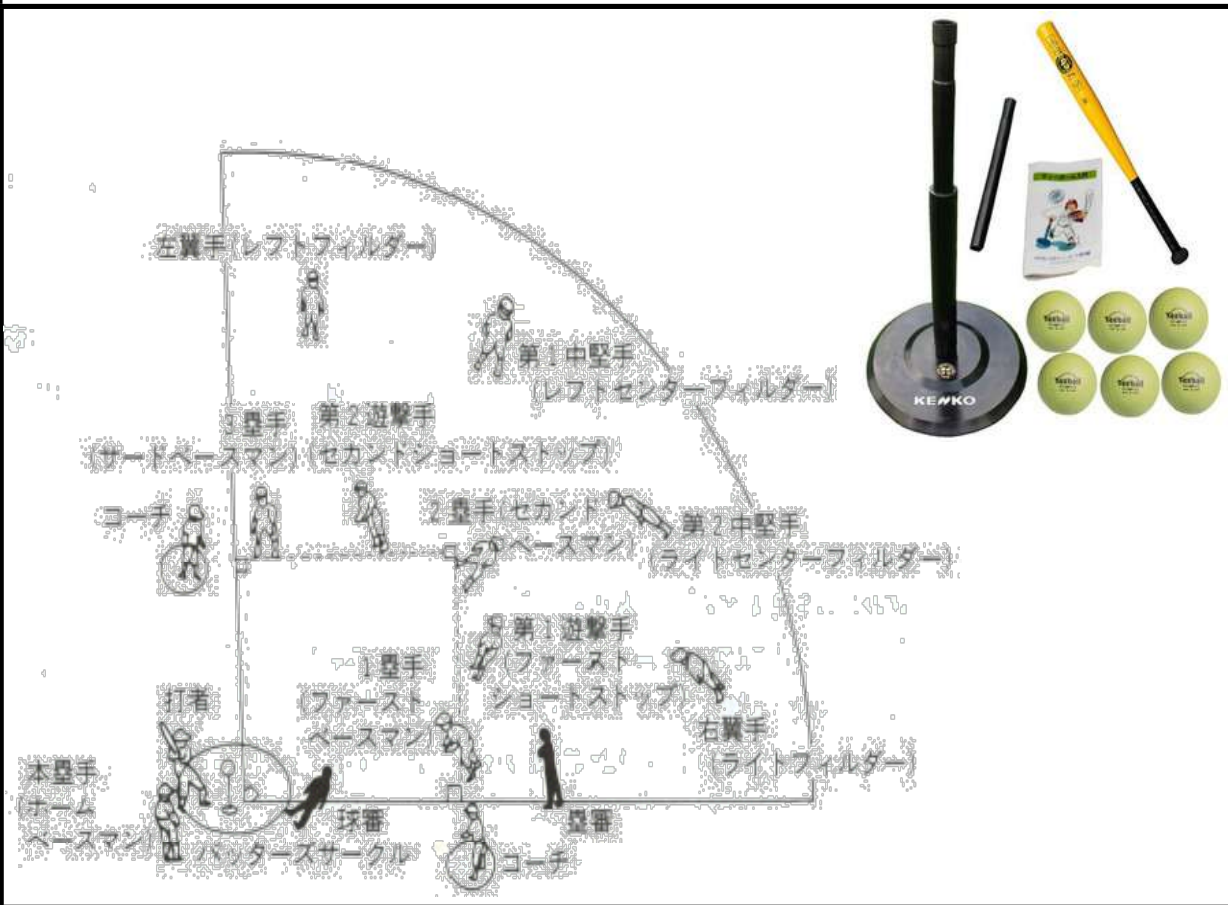
〇チームの最後部に位置する選手はアンカーと呼ばれ、身体に綱を巻いたような持ち方をする。

〇地面に引かれた3本の線は、真ん中を「センターライン」、その2メール離れた位置に引かれた線を「2メートルライン」という。綱にも3箇所の目印があり、センターマーク、2メートル離れた位置にホワイトマークがあり、2メートルラインとホワイトマークが重なる位置まで引くことで勝敗を競う。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	ティーボール	人　数	20名程度	場　所	屋外
道　具	バット、ボール、バッティングティー、ベース				

ルール



〇打者は、バッターズサークル（本塁プレートの角を中心とし描いた半径3mの円）のなかで打撃を行う。
〇バッティングティーは、本塁プレートの後方50㎝以上1m以内の間に置く。
〇守備者は10名で行う（上記のとおり）。他の選手はエキストラヒッター（打つだけの選手）となる。
〇本塁手は打者が打撃を完了するまでは、バッターズサークルの外にいなければならない。
〇走者は打者が打った後、離塁することができるが、走者の離塁が早いときは走者はアウトになる。
〇盗塁は認められない。
〇スライディングは禁止。
〇走者の1塁、2塁、3塁での駆け抜けは認められる（走者はベースを駆け抜けた後、進塁の意思がない場合には野手にタッチされてもアウトにならない）。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	ディスクゴルフ	人　数	特別な制限なし	場　所	屋外
道　具	フリスビー、移動用ゴール				





ルール

〇1打目はティー・ラインの後ろから投げ、2打目以降はディスクが止まった地点にマークをし、そこから投げる。
〇通常は4人1組でラウンドする。
〇ディスクを投げる順番は、1番ホールのティーショットだけはジャンケンによって決め、2打目以降は打数に関係なくゴールから遠いプレーヤーから投げる。
〇2番ホール以降のティー・ショットは、前のホールでスコアのよかったプレーヤーから順に投げる。もし、同スコアの場合はさらに前のホールにさかのぼって比較し、スコアのよいプレーヤーから投げる。
〇ディスクは転がしてもバウンドさせてもかまわない。また距離や風などにより何枚かのディスクを使い分けることもできる。
〇木や建物などの上にディスクが止まった場合、地面から2m以上ならOBとなり1ペナルティー。2m未満ならディスクの真下にマークをし、そこから通常のプレーを続ける。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	ディスコン	人　数	特別な制限なし	場　所	屋内
道　具	ディスク				

ルール





〇1チーム6枚のディスクを持つ（1チーム1人では6枚、2人では3枚、　3人では2枚、4人～5人では1枚で残りは誰が投げてもよいが1人 2枚まで、6人では1枚とする）。
〇AチームとBチームの代表がジャンケンをし、勝った方が赤となる。〇スローの順番は、チームで自由に決定できる。コートラインとは、スロ ーラインとサイドラインとエンドラインを指す。
〇スローラインは3．5m、エンドラインは9mが基本であるが、会場の 広さや参加者数、参加対象等で長さを検討する。
〇スロー方法は、インサイドスロー、アンダーハンドスローの2種を認　定スローフォームとする。
〇得点の決め方・採点方法・ポイントの上に赤ディスク、その上に青ディスクが乗り重なった場合　は、ポイントに接している赤の勝ち。・ポイントに両方が一部乗り上げている場合は、ポイントの中心点から の距離で競う。

ニュースポーツ用具　使用方法

令和　4年　4月　改訂

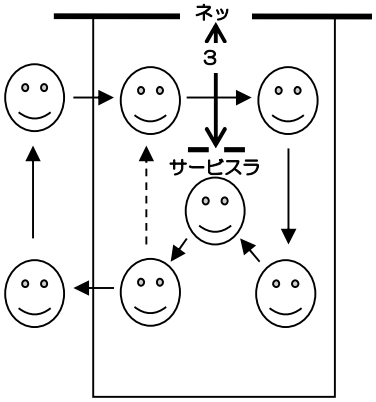
種目名	ふらばーるボールバレー	人　数	1チーム5～8人程度	場　所	屋内
道　具	ふらばーる、支柱、ネット				





ルール

○変形したボールを使う、バレーボール型スポーツ。
○1チーム5人。6人以上のメンバーもローテーションの対象とし、コートの脇で待機してローテーションのときに、中の選手一人が出て、待機していた選手一人が中へ入ることもできる。
○コートはバドミントンコートで、ネットの高さは155cm（バドミントンと同じ）で、ラリーポイント制、21点先取。



○サーブはコートの中央からアンダーハンドで相手コートへ入れる。
○サービス球のみ、ノーバウンドでタッチし、3回以内に返す。
○以後、相手コートから返ったボールは、必ずワンバウンド後レシーブして3タッチ以内で返す。
○ルールのオプションとして、ひとり1回しか触れない、1回で返さない、ネットの高さを変える（180cm、200cm等）などがある。

ニュースポーツ用具　使用方法

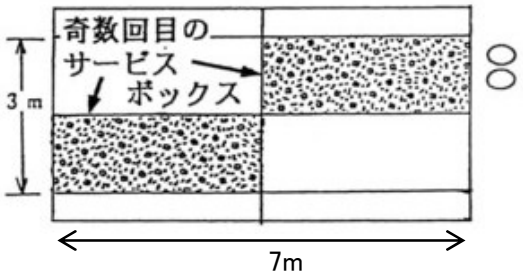
種目名	フリーテニス	人　数	特別な制限なし	場　所	屋内
道　具	ラケット、ボール、ネット				





ルール

〇サーバー(サービスをする人)は、1回バウンドしたボールをラケットで対角線上の相手サービスボックスの内に入れる。



〇レシーブは、1回バウンドしたボールを打ち返し、相手が打ち返せないようにするか、相手のミスを誘うようにして得点を競う。
〇サービスは1ゲームの終わりまで決まった1人が行う。2回目のサービスは左側から行い、レシーブは1回目にしなかった相手側の人が行う。
〇ゲーム終われば相手側にサーブ権が移行する。
〇コートチェンジは奇数ゲーム後に行う。
〇得点の数え方はサービスサイドから数え、1-0の時は「ワン・ゼロ」、1-2は「ワン・ツー」、2-2は「ツー・オール」3-3「ジュース」と呼ぶ。

ニュースポーツ用具　使用方法

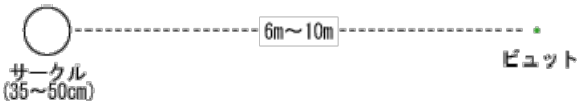
種目名	ペタンク	人　数	特別な制限なし	場　所	屋外
道　具	ブール（ボール）、ビュット、メジャー				





ルール

〇最初に目標球（ビュット）を投げるチームを決め（じゃんけん等）、サークルの中に立ち、ビュットを投げる（投球円の先端から6m以上10m以下）。

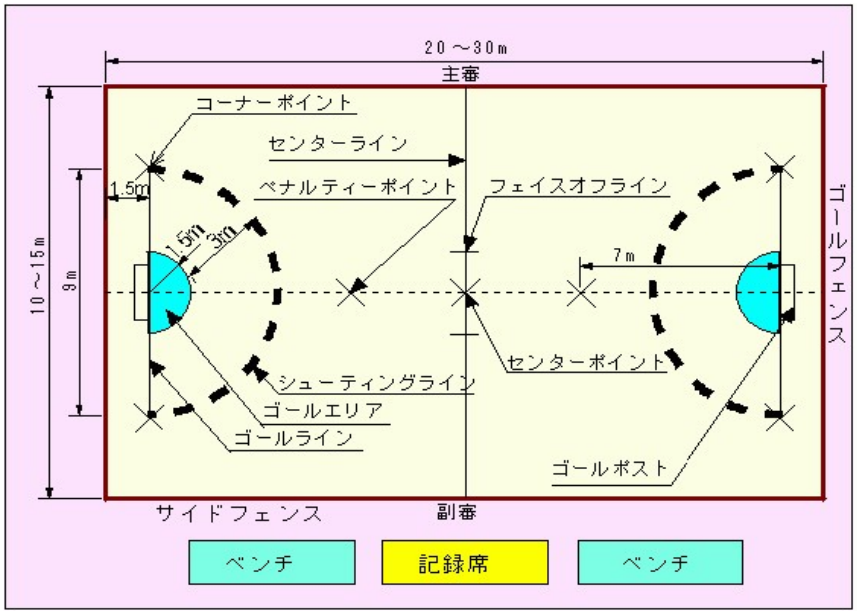


〇ビュットを投げたチームから最初のブールを投球し、相手チームが続けて投げ、最初の1投ずつに限り、両チームが交代でブールを投げる。
〇どちらのブールがビュットに近いか、両チームで判断する。
〇ビュットからブールの位置が遠いチームが、次の投球を行う。
〇近くに投げる事が難しいと感じた時は、相手のボールを弾き飛ばすこともできる。
〇両チームがブールを投げ終わったのち、互いの得点を数え、両チームで確認し、相手チームのブールよりもビュットに近いブールの数が獲得した得点になる。
〇勝ったチームがビュットの位置を中心に新たな投球円を書き、ビュットを投げて次の試合を開始する。
〇どちらかのチームが13点（11点）を獲得した時点でゲーム終了。

ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	ユニホック	人　数	特別な制限なし	場　所	屋内
道　具	スティック、ボール、ゴール				

ルール





○6人対6人でおこない、キーパーは置かない。
○フライングボールは手のひらに当てて「真下」に落とすことができる。
○ボールを止める際は、頭と腕以外ならどの部分を使ってもよい。
○反則の度合いによって、ペナルティーストロークまたはフリーストロークが相手に与えられる。
※ペナルティーストロークは、ペナルティポイントから1度だけシュートできる。この際、他のプレーヤーはペナルティポイントから後方2m以上離れてボールがゴールラインを越えるまで動いてはならない。ボールがゴールまで届かない場合はフェイスオフにより再開される。
※フリーストロークとは、自由なストローク（パス、シュート）ができる。また、主審の合図から3秒以内に打ち、相手方はプレーヤーより3m以上離れていなければならない。
※フェイスオフとは、レフリーによって床上に置かれたボールを両チーム各1名のプレーヤーがスティックで取り合うこと。

【プレーの進め方】
○競技時間は前後半10分ハーフで、ハーフタイムは2分。
○フェイスオフにより競技を開始する。
○得点は1ゴール1点とし、同点の場合は、5分間の延長戦をおこなう。それでも勝負がつかない場合はサドンデス方式をとる。

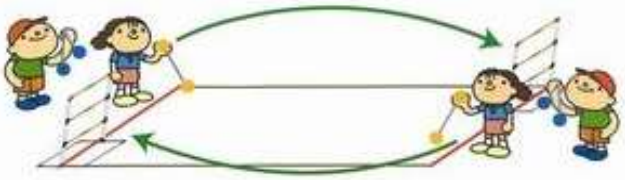
ニュースポーツ用具　使用方法

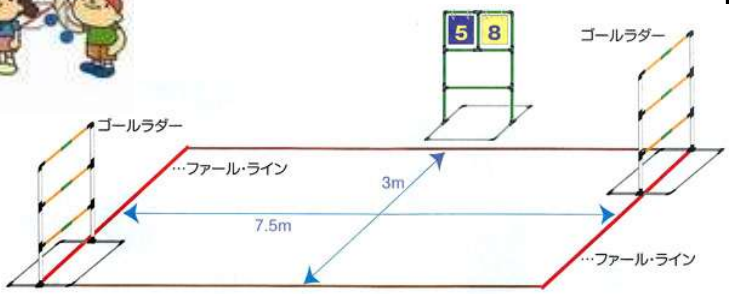
種目名	ラダーゲッター	人　数	2～6人	場　所	屋内・屋外
道　具	ラダー、ボール、得点板				

ルール



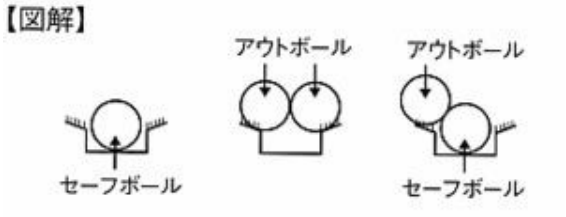






〇ヒモでつながっている2個のボールをラダー(ハシゴ)に向かって投げ、ボールがラダーに引っ掛かるとポイントになる。
〇3本のラダーには、1，2，3点とポイントが表示されており、それぞれのラダーに引っ掛かったボールの数で得点を競う。
〇床にボールがバウンドして、いずれかのラダーに引っ掛かったら5点のポイントとなる。
〇投げ方は、片方のボールを手に持ち、もう片方のボールを下に垂らしてゆっくり前後にスウイングし、ボールが後方回転しながら飛ぶように、アンダーハンドで投げる。

ニュースポーツ用具　使用方法

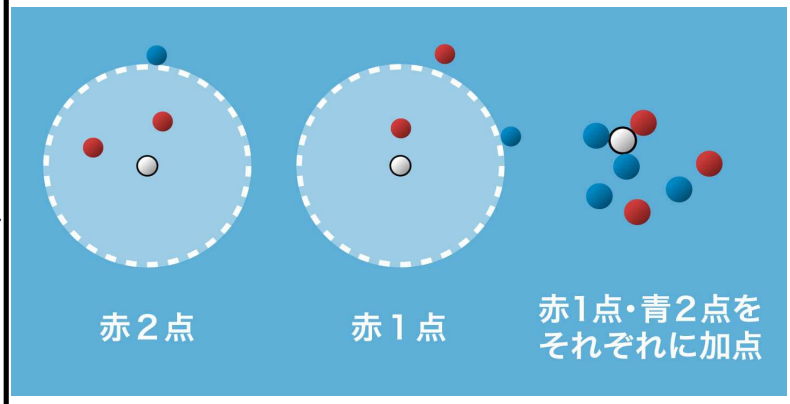
種目名	囲碁ボール	人　数	2～6人	場　所	屋内
道　具	マット、ボール白（10）黒（10）、スティック（2）				
ルール	○ジャンケンで先攻をきめる。ジャンケンに勝ったチームが黒ボールを使用し 打つ順番は先攻後攻交互に行う。 ○20個のボールをすべて打つことを「1局」といい、1局が終了したらアウトボールを取り除き点数を数える。 ○次の局は、前局で得点の高いチームが先攻となる。 ※同点の場合は前局の先攻チームが先攻のまま ○1試合は5局の総合計 試合時間　30分　試合途中で30分が経過した場合、その局は続けることができるが次の局は行えない。 ○得点 得点は1局終了後、目（穴）に正しく入っているボールをセーフボールとしこれをライン得点とポイント得点で計算する ①ライン得点（自チームのボールが縦、横、斜めのいずれかの目（穴）に3つ以上並ぶとライン得点となる。並んだ数を「目」といい、できた組数を「連」といい6目以上は無効でライン得点が無効となり、ポイント得点のみとなる。 【図解】  				

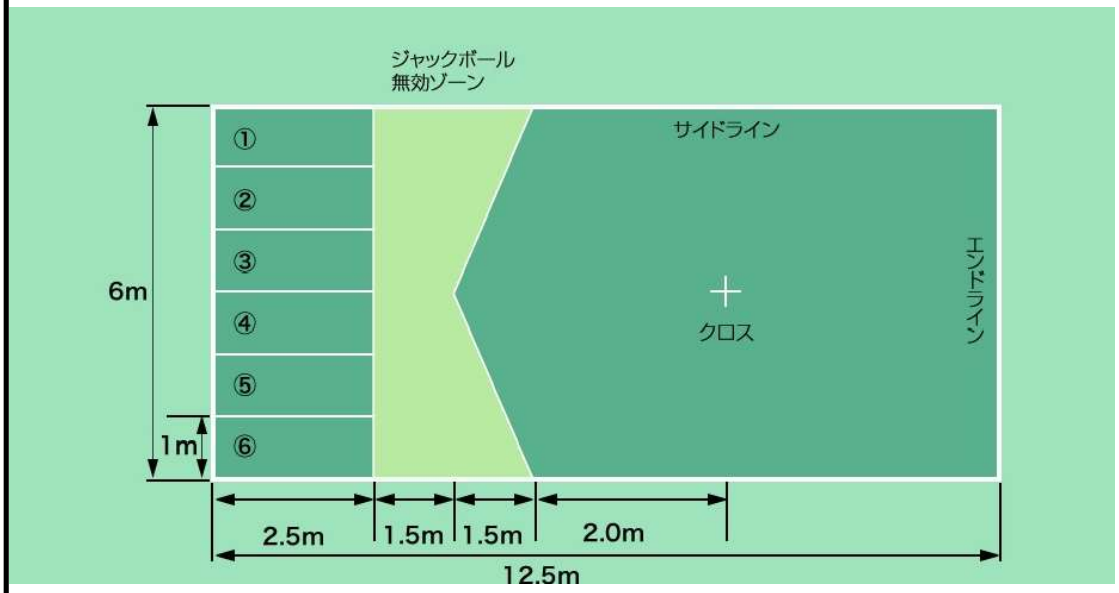
ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	ボッチャ	人　数	2～6人	場　所	屋内
道　具	ジャックボール（白）チームボール赤（6）・青（6）計測器具（メジャー等）				

ルール

①コイントスやジャンケン等で赤・青チーム決める
②赤チームがジャックボール（白）を投げる
③赤チームがチームボール（赤）を投げる
④青チームがチームボール（青）を投げる
⑤ジャックボール（白）とチームボールの距離を計測し、距離が遠い方が
チームボールを投げる
以降はジャックボール（白）から距離が遠いチームがボールを投げる
各チーム　6球ずつ投げたら得点を計算し、1試合が終了
試合形式
個人戦（1人対1人）持ち球　1人　6球（4試合）
ペア戦（2人対2人）持ち球　1人　3球（4試合）
団体戦（3人対3人）持ち球　1人　2球（6試合）



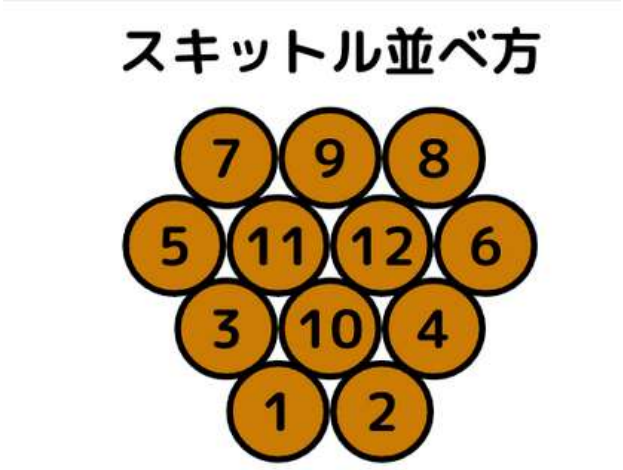


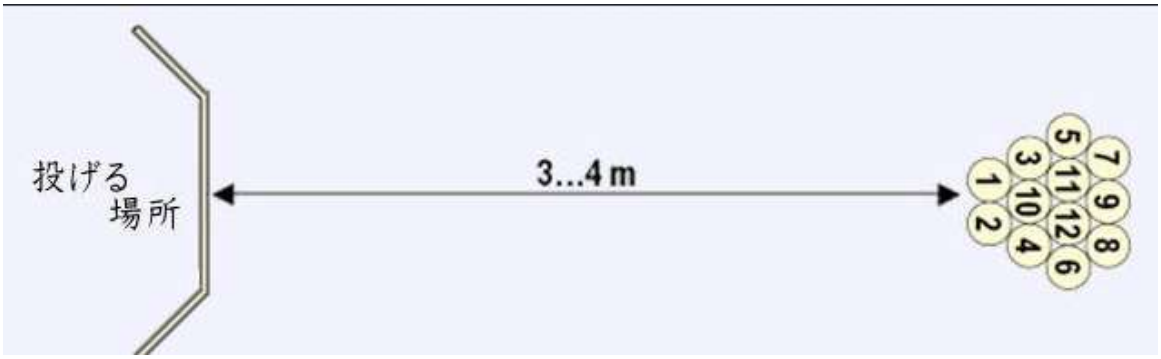
ニュースポーツ用具　使用方法

種目名	モルック	人　数	2～10人	場　所	屋内
道　具	モルック、スキットル、モルッカーリ				

ルール

①モルックを投げる地点にモルッカーリを置き、そこから3～4m離れたところにスキットルを下の図の順番に並べる。
投擲時にモルッカーリに触れたり、踏み越えるとフォルトとなり0点となる。
②投擲順を決め、順番にモルックを投げてスキットルを倒す。1本しか倒れなかった場合は、「倒れたスキットルに書かれている数字＝点数」となる。
複数本のスキットルが倒れた場合は、「倒れた本数＝点数」となる。
スキットルが完全に倒れていない（重なって地面についていない）
場合はカウントしない
③スキットルは、倒された地点で再び立てる。
④いずれかのチームが50点を先取した時点でゲーム終了。
50点を超えて得点した場合、25点へ減点され、ゲームは継続となる。
⑤3回連続スキットルを倒せず、失投した場合0点と記録され、失格となる。

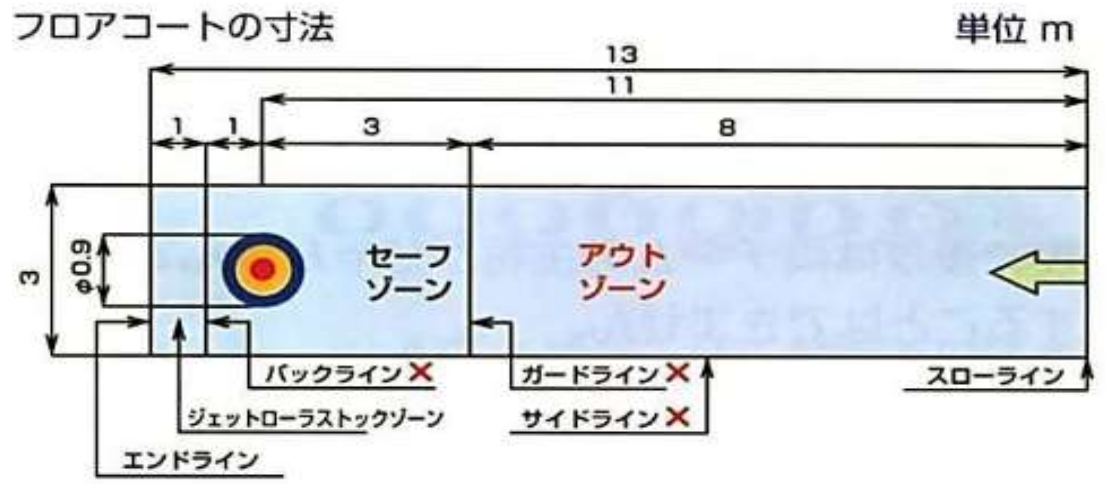




種目名	カローリング	人　数	2～6人	場　所	屋内

ニュースポーツ用具　使用方法

道　具	ジェットローラー、ポイントゾーン
ルール	①3人対3人で行う。1人対1人でも可能。 ②先攻後攻を決め、先攻は橙・緑・黒、後攻は青・黄・赤の順でジェットローラーを使う。 ③先攻後攻の順に交互にスローラインからポイントゾーンを狙って投球する。（赤3点、黄２点、青１点） ④6個のジェットローラーをすべて投球し終えた時に、1番ポイントの中心に近い方のチームが勝ちとなり、勝ったチームは相手チームより優位のローラ全ての合計が得点となる。



【 留 意 事 項 】

使用については、以下のことに留意してご使用ください。

① ルールを守って、安全にお使いください。

② 使用方法については、「ニュースポーツ用具　使用方法」を参考にお使いください。

※ なお、「ニュースポーツ用具　使用方法」は、本来のルールを簡素化して表示しています。全てのルールを網羅したものではありません。

③ 使用を希望される場合は、別紙「借用願い」に必要事項をご記入の上、井原市教育委員会文化スポーツ課宛にご提出ください。

④ どなたでも使用していただくことはできますが、未成年者の使用については、必ず指導者や保護者等の指導のもとで使用してください。

⑤ 目的以外の使用で用具を紛失・破損等した場合は、弁償していただきます。

⑥ 用具の紛失・破損等があった場合は、必ず申し出てください。申し出のない場合には、弁償していただくことがあります。

⑦ 上記のことを守っていただけない場合には、貸し出しをお断りすることがあります。

⑧ 使用についてのお問い合わせは、下記へご連絡ください。

〒715－8601
岡山県井原市井原町311番地1　井原市教育委員会文化スポーツ課
TEL 0866－62－9533　　FAX 0866－62－0332
E-mail　sports@city.ibara.ne.jp

□ ＦＡＸ

借 用 願 い

令和　　年　　月　　日

井原市教育委員会文化スポーツ課長　殿

責任者 住　所

団体名

氏　名

Ｔ ｅ ｌ

下記のとおり、物品の借用をお願いいたします。

記

使用目的				
使用日時	令和　　年　　月　　日	時　　分～　　時　　分		
使用場所				
貸 出 日	返却予定日	物　品　名	数 量	備 考